

イヤイヤどうする？

対 象：乳幼児をもつ保護者

3歳児検診時

時 間：30～40分

ねらい：「イヤイヤ」「だだをこねる」どちらも親としては辛いもの。ここでは、保護者が子どもに「こうしなさい！」というのではなく、「子どもに決定権を与える」ことを理解し、実践することができるようにする。

進行上の留意点：ストレスがかかる保護者の状況に共感する。

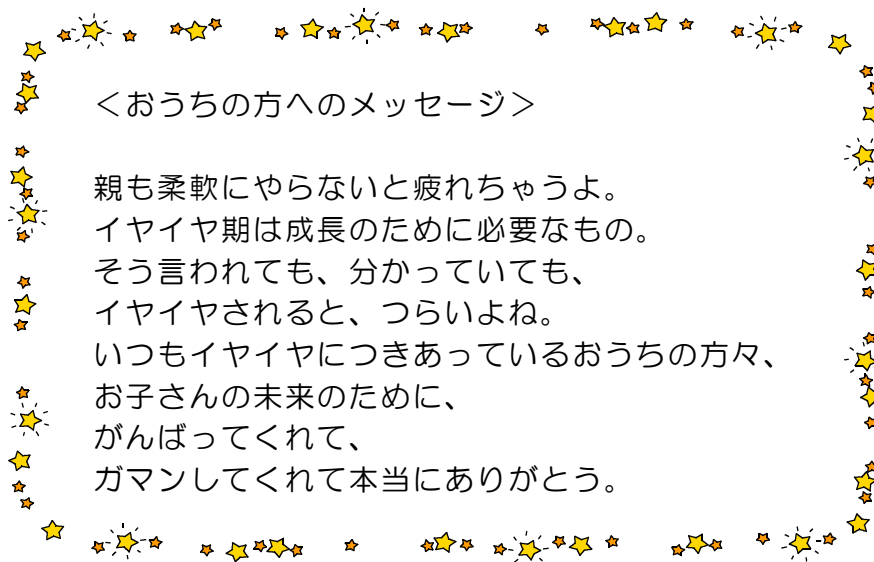
準備物：付箋

その他：傾聴の仕方、メッセージの伝え方などの資料を用意する。

ファシリテーター	時 間 形 態	参 加 者	※留意点 ・準備物
1 始まりの会 ・アイスブレイク ・自己紹介	5 (一斉)	アイスブレイクや自己紹介を通し、気持ちをほぐす。	※短時間で行う。
2 「お子さんにイヤイヤとだだをこねられ、困るときはどんなときですか？」	10 (グループ)	困っていることをグループの中でシェアする。 ・買い物の途中「お菓子買ってえ」 ・公園で遊んでいて「帰るのやだあ」 など	・付箋
3 「いざ、イヤイヤされると親子共々問題解決のプロセスを考える余裕がなくなりますが、できたら子どもに決めさせることができたらいいですね。そのためにはどうしたらいいでしょう？」	10 (グループ) 5 (一斉)	解決のプロセスのために、どう子どもに接したらいいかを出し合う。 発表を聞いて、できそうな案を見つける。 ・「どうしたい？」と聞く。 ・イヤイヤする前に、先手を打つ。	※親は考えるプロセスの中に子どもに決定させる場面を必ず入れるようアドバイスする。
4 ファシリテーターから話をする。	5 (一斉)	ファシリテーターの話聞く。	※イヤイヤ期は成長に必要であることを話し、保護者に安心感を与える。
5 終わりの会 ・振り返り	5 (一斉)	振り返りを皆さんでシェアする。	

<イヤイヤされたら？>

- ① 例「帰りたくないんだね」子どもの意見をリピートする
- ② 「どうしたい？」 子どもに質問する
- ③ 子どもに決めさせる



<おうちの方へのメッセージ>

親も柔軟にやらないと疲れちゃうよ。
イヤイヤ期は成長のために必要なもの。
そう言われても、分かっているけど、
イヤイヤされると、つらいよね。
いつもイヤイヤにつきあっているおうちの方々、
お子さんの未来のために、
がんばってくれて、
ガマンしてくれて本当にありがとう。